

地域連携推進会議議事録

社会福祉法人たまん福祉会

1. 開催日時 令和8年1月28日（水） 午前10時00分

2. 開催場所 グループホームシエル

3. 出席者 グループホーム管理者
利用者
利用者家族兼福祉に知見のある人
地域関係者
事務職員

4. 議題 (1) 開会あいさつ
(2) 出席者の紹介
(3) グループホームフルールについて
(4) グループホームの日課や活動について
(5) 近隣からの苦情等について
(5) 質疑応答
(6) 閉会あいさつ

5. 会議内容詳細

(1) 開会あいさつ

【管理者】 会議に参加していただいたことへの感謝を述べ、地域連携推進会議の目的や内容について説明した。

(2) 出席者の紹介

それぞれ自己紹介を行った。

(3) グループホームについて

【管理者】 グループホームを設立した経緯を説明。3つのグループホームの紹介と利用者の利用状況などを説明した。

グループホームフルール、ラメールは平成27年4月1日開所。グループホームシエル、令和4年4月1日開所。

①グループホームフルール（女性）：定員7名、現在の利用7名。他事業所利用者が1名、一般就労が2名、たまん利用者が4名。

②グループホームラメール（男性）：定員7名、現在の利用7名。一般就労が2名、たまん利用者が5名。

③グループホームシエル（男性）：定員7名、現在の利用7名。ショートステイも兼ねておりショートステイの定員は3名。他事業所利用が2名、たまん利用者が5名。

(4) グループホームの日課や活動について

【管理者】利用者の日課の説明を行い、活動写真を配布。月に1回余暇の日を持ち、ピクニックや散歩、ドライブをしたり、おやつ作りを行っていることを説明。会議に参加している利用者との対話も交えながら説明を進める。

(5) 近隣からの苦情等について

【管理者】今のところ大きな苦情はないが、苦情になる前に早目に対処を行っている旨説明。また、保護者と連携をとり、苦情になる前に保護者の要望を聞き、月に1回行う調整会議で情報を共有している。

(6) 質疑応答

【利用者家族】

利用者からの要望はあるか。

【管理者】

携帯が壊れた。毛布が買いたいなどの要望がある場合、自分で買える方や家族のサポートがある方は良いが、それが難しい方は私達のほうでサポートしている。

【地域関係者】

利用者は外泊したがるか。

【管理者】

ラメールの利用者は結構外泊しているが、本人達が帰りたいのではなく親が寂しいからだと思う。自分で帰りたくて帰っている方は一人程度。保護者は、まだ自分は元気だから週末は自宅で一緒に過ごしたいということで、自分でお出かけできない利用者は外泊することが多い。

【利用者家族】

従業者の研修等を行っているか。

【管理者】

年に何回行ってくださいというのが義務化されているので、虐待についての研修等を行っている。チェックシートも活用している。細かい項目で、敬語を使っているかとか、威圧的な態度をとっていないかなど、研修終了後に行っている。また、感染症対策の研修も行っている。去年は行政の虐待研修に派遣したりした。研修に行った後は、調整会議で資料を配り、報告。職員間で情報を共有している。

【利用者家族】

問題が起こった場合などはどうしているのか。

【管理者】

小さな問題は多々あるので、月1回の調整会議の時に、利用者の支援で困っていることなどを話し合い、お互いで意見を出し合っている。緊急の場合は私の方に直接連絡するようにと伝え、アドバイスなどを行っている。

【利用者家族】

地域への働きかけを行ったりしているか。例えばコンビニに行って、みんなで挨拶に行ったり・・・お金を払い忘れた時など、何かトラブルになる前に「たまん」や「フルール、ラメール」にいる方と分かれば対処してもらえるのかなと思う。

【管理者】

今のところコンビニは、一人で購入できる方は一人で行くが、一人で行けない方は、世話人さんが同行している。

【利用者家族】

今のコンビニは、障がいとか虐待を受けた人たちを助ける役割を持っているので、コンビニの方に助けてもらうためには、挨拶等をしていた方がいいのかなと思う。

【管理者】

施設見学の日程の件を話し合う。

利用者家族は、週末にグループホームへ来所する際に行うということで、令和8年2月1日（日）11時頃で決定。

地域関係者は、令和8年2月4日（水）17時15分頃で決定。

(7) 閉会あいさつ

【管理者】

会議参加者に感謝を述べ、地域連携推進会議の終わりのあいさつを行った。